

令和7年度第2回放送番組審議会

■開催日時

令和7年12月2日（火）14:30～16:30

■開催場所

WEB 会議

■出席委員（8名）

放送番組審議委員会会長	景山 陽一
放送番組審議委員	服部 洋之
	時田 修
	三富 章恵
	加藤 光平
	小川 顕
	伊藤 かすみ
	栗原 エミル
	（順不同・敬称略）

■事務局出席者

代表取締役社長	末廣 健二
取締役兼コーポレート本部長	佐々木 祐人
テクニカルクリエイイト本部長	安保 達成
テクニカルクリエイイト本部マネージャー	斉藤 洋樹
テクニカルクリエイイト本部サブマネージャー	三浦 明之
(株)TEAM CNA CREATION サブリーダー	福田 伸
(株)TEAM CNA CREATION	目黒 康文
コーポレート本部	奈良 亜湖
コーポレート本部	原田 侑奈
コーポレート本部	佐々木 眞呼

■議事 事務局からの報告事項/自主放送番組についてのご意見

■視聴課題番組

番組名
① 折渡千体地藏 平和を受け継ぐ思い
② 地域の宝・八郎湖を未来に！はちろうプロジェクトの挑戦！！

■ご意見まとめ

15分という尺が丁度よい。将来について考えさせられる内容となっているものの、どちらも課題解決の内容が組み込まれていないため、構成の再検討が必要。

■放送番組審議委員会からのご意見（詳細）

①『折渡千体地藏 平和を受け継ぐ思い』

（番組内容）

- ・平和への思いが込められた地藏を守る動きが番組を通じて広がるとよい。
- ・地藏が戦争、平和というテーマの中で登場人物の心のよりどころになっているのが印象的。
- ・高齢化・人口減少が地域の取り組みに影響していると感じた。・人や団体を通じた課題解決へのアプローチが良かった。
- ・特攻兵器の研究に携わった人の思いが受け継がれていることに重みを感じる。
- ・戦争という重いテーマのため、気軽に視聴するのは難しい。

（番組構成/制作）

- ・ドローン撮影で臨場感がありよかった。・千体地藏を見たことがない人にとってインパクトのある画があるとよりよい。
- ・動きの少ないものを取り上げつつ、まるでスピード感があるような映像で飽きずに見ることができた。
- ・会員の家族の状況について迫れるとさらに課題が明確になる。
- ・地藏ができた経緯や歴史の部分をもう少し膨らませてられると、より感動できる。
- ・課題の解決方法について深堀が出来るるとよい。・内容に緩急をつける、構成を通常と逆にする点など、冒険をするのもよい。
- ・最後の新規会員募集の映像が、回覧板のアップで文字が読みづらいと感じた。番組で募ってみても良かったのではないかな。

②『地域の宝・八郎湖を未来に！はちろうプロジェクトの挑戦！！』

（番組内容）

- ・誰もが馴染みのあるミジンコを取り上げており大人も子どもも学びになる。昔の写真や思い出話でかつての姿が伝わってきた。
- ・環境学習プログラムなど草の根の試みが紹介され、将来を考えるきっかけになる番組だった。
- ・現状の取り組みと実際のスケールを考えると解決が難しいと感じたため、解決につながる転機になるような情報も欲しい。

（番組構成/制作）

- ・プロジェクト内容の順を追った説明が理解しやすく、明るいテンポでよかった。
- ・女性の話し手が上手で内容が理解しやすかった。・インタビュアーの画が長いため、子供時代の写真などを入れるとよい。
- ・インタビューの時に雑音が混ざっている部分や、テロップが小さくて読めない箇所があった。
- ・失敗から成功につながったエピソードがあれば、より「挑戦」というテーマに近い内容になる。
- ・行政・企業・学術機関と連携やメディアとして「こうであるべきだ」という「提言」を番組内ですべき。
- ・解決に関わる内容ではなかったため、番組の構成を見直し、課題を知らせるような内容にした方がよいのではないかな。